

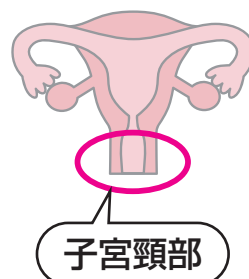
子宮頸がんは予防できるがんです ～いまこそ知っておきたい 子宮頸がん&HPVワクチン情報～

子宮頸がんは女性の健康を脅かす病気です。

HPV ワクチンについての正しい知識を身につけ、子宮頸がんを予防しましょう。

子宮頸がんって何？

子宮頸がんは、子宮頸部（子宮の入り口）にできるがんです。子宮頸がんの原因のほとんどがヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルス感染によるものです。女性の多くが一生涯に一度は感染し、一部の人はがん化するとされています。日本では、年間約3,000人が子宮頸がんによって死亡しています。子宮頸がんになる人は主に20代後半から増加しますが、予防のためには10代からの対策が効果的です。



HPVワクチンって何？

HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）は9つのウイルスの型に対応しており、子宮頸がんの原因の80～90%を防ぐ効果があります。〔参考：厚生労働省 HPVワクチンについて知ってください概要版〕

ワクチンにはどんな効果があるの？

海外の研究ではHPVワクチン接種者は非接種者に比べて、浸潤子宮頸がん発生率が90%近く減少したとの報告があります。また、日本の研究でも、接種者において前がん病変率が減少していることが分かっています。〔参考：（公社）日本産科婦人科学会HP 子宮頸がんとHPVワクチンに関する正しい理解のために〕

どうやったら接種できるの？

無料で接種できるHPVワクチン定期接種対象の方は小学校6年生から高校1年生相当の女子です。

接種回数は2回または3回です。（接種開始する年齢によって、接種回数が異なります）

対象の方には5月に依頼書兼予診票を送付しています。接種の際は、届いた依頼書兼予診票などをお持ちのうえ、予防接種協力医療機関で受診してください。

依頼書兼予診票を紛失した方は再交付が可能ですので、こども支援課までお問い合わせください。

HPVワクチンはどのくらいの人 が接種してるの？

御坊市在住で、現在高校1年生相当の女子の半数以上は接種しています。

夏休みは接種の チャンスです！

過去に接種した方の多くが、夏休みを利用してしています。

夏休みの間は時間にゆとりがあり、落ち着いて接種を受けることができる機会です。

まだ接種を開始していない方、接種を完了していない方は夏休みの間に接種しましょう。



子宮頸がんの
予防には検診
も有効です。



検診・予防接種についてもっと知りたい方は
市ホームページをご覧ください。



子宮頸がん検診



HPV ワクチン

